

電子帳票システム



Version5.8/5.9→6.0

変更内容のご説明

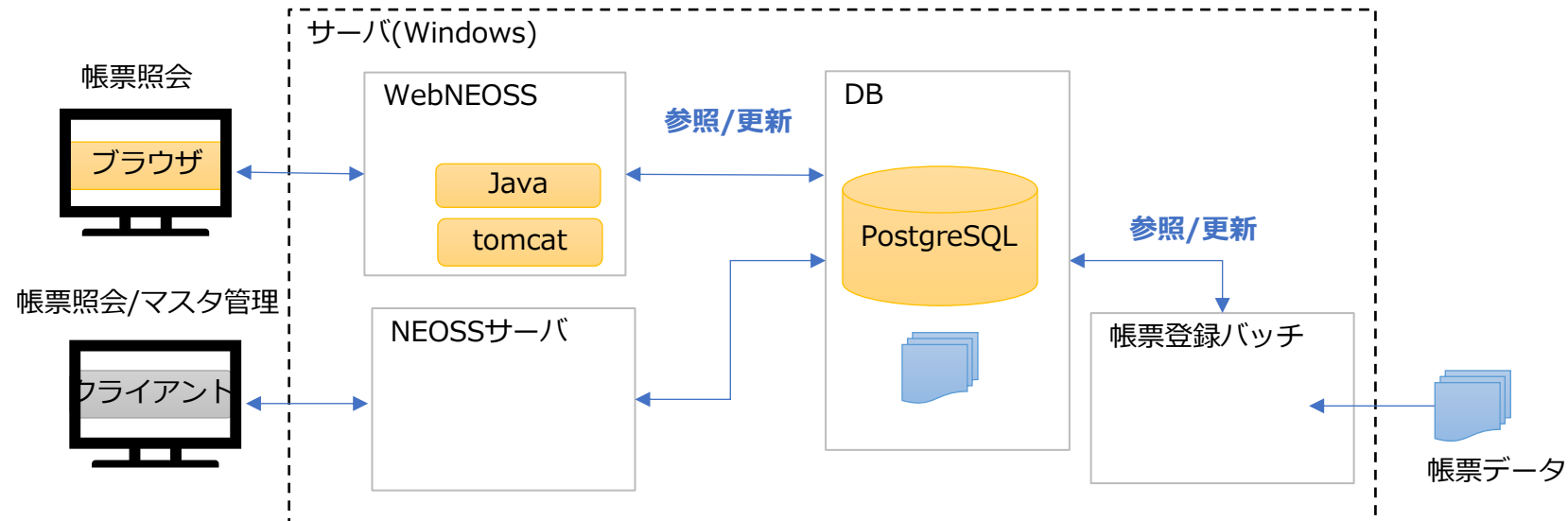
2025年1月（改訂）

インフォコム株式会社
サービスビジネス事業本部
スマートビジネス部

NEOSS v6 の主な変更点

以下の変更を行っております。

- ① 内部利用データベースを PostgreSQLに変更
- ② WebNEOSSのブラウザ対応（ActiveX不要）
- ③ 一部機能の変更・廃止
- ④ サーバーソフトウェアの64bitアプリケーション化
- ⑤ 帳票データをファイル保存のみに変更（DB内の保管を廃止）
- ⑥ 対応OSをWindowsに集約



NEOSS v6 の変更内容

① 内部利用データベースを PostgreSQLに変更

将来的なメンテナンスの維持、システム運用のしやすさから、オープンソース・ソフトウェア（以下、OSS）である「PostgreSQL」に変更することにいたしました。

※OSSの取り扱いについては、P.8~9「【補足】OSSお取り扱いの注意点」ご参照

v6へのバージョンアップ時はデータベース変更等の環境変更が多いため、安全面を考慮した次の移行方法を推奨いたします。

- 現行と別サーバへの移行
- 新旧サーバの並行稼働期間を設けての運用確認

NEOSS v6 の変更内容

② WebNEOSSのブラウザ対応（ActiveX不要）

従来の「Chromium版Edge IEモード」から、一般的なWebブラウザでご利用いただけるようにいたしました。

動作確認のブラウザは以下になります。

- ・ Google Chrome
- ・ Microsoft Edge

ユーザ操作画面を完全Web化（ActiveX不要）としたため、画面レイアウトおよび操作性に変更が発生いたします。

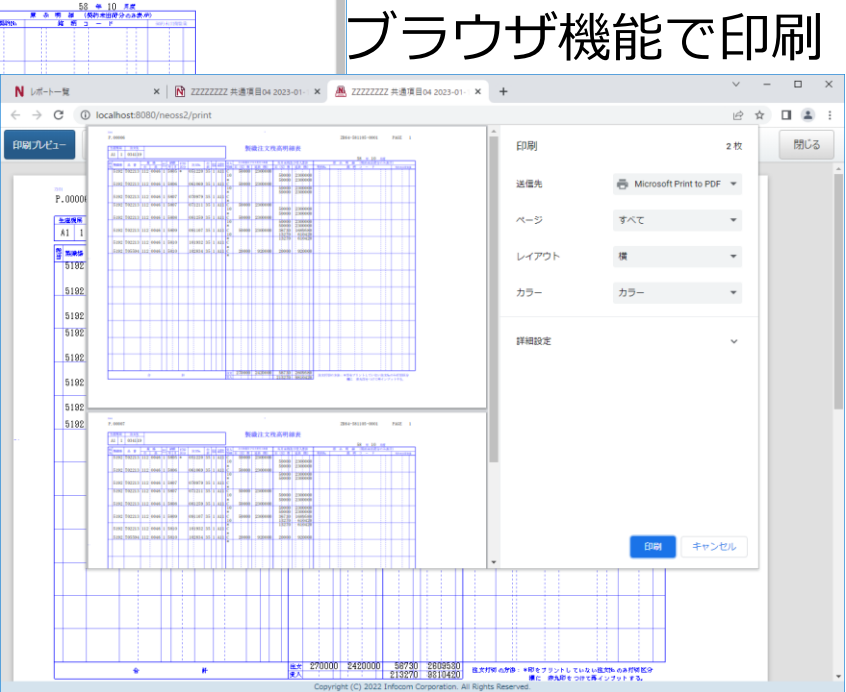
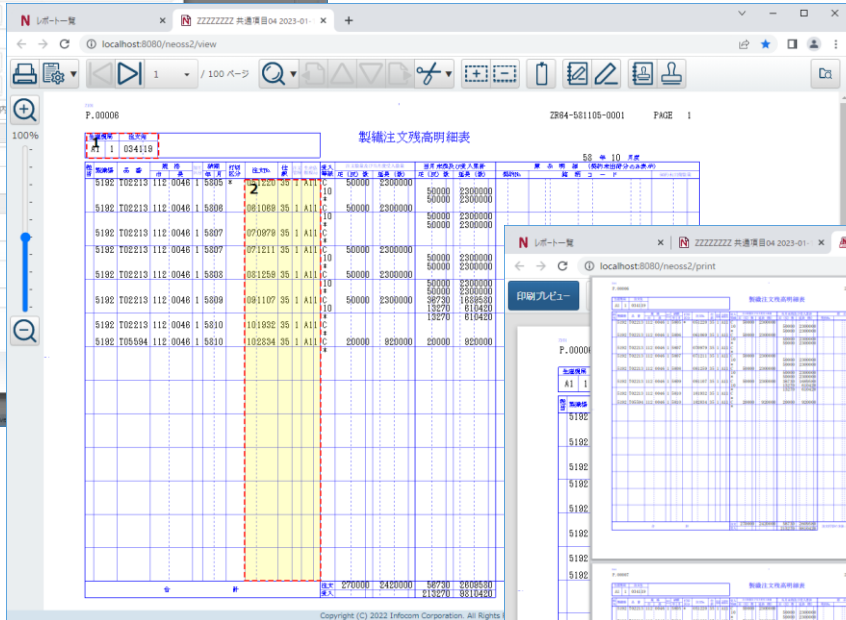
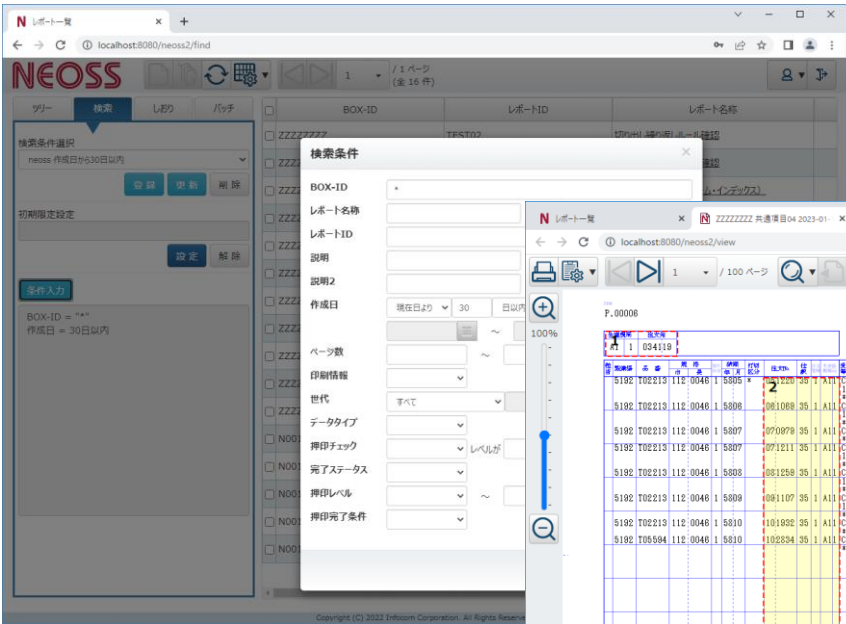
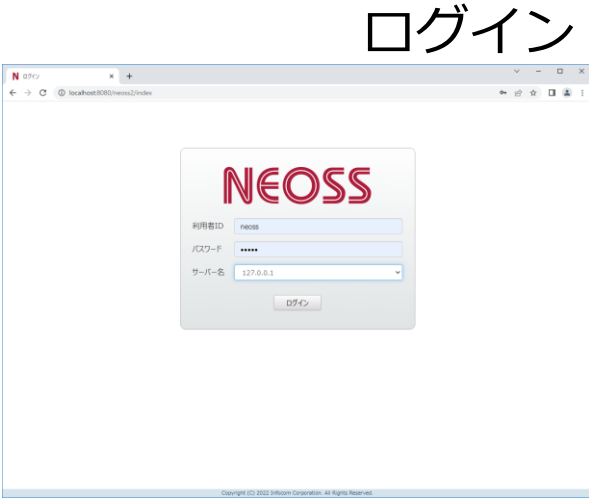
また、一部機能の制約が発生いたします。

（詳細は、P.5「■ WebNEOSSの変更点」参照）

NEOSS v6 の変更内容

② WebNEOSSのブラウザ対応（ActiveX不要）

（主な画面イメージ）



NEOSS v6 の変更内容

③ 一部機能の変更・廃止

お客様の使用状況および画面の完全Web化（ActiveX不要）等により、一部機能の提供について変更・廃止いたします。

■ WebNEOSSの変更（以下一覧の通り）

機能一覧		v6.0ご提供予定	補足
レポート選択	一覧表示、階層分類	○	
	レポート一覧からの検索・限定	○	
	串刺し	○	
レポート内検索	文字列、数値、エリア検索	○	エリア検索に文字列・数値検索を統合
	項目検索・共通項目検索	○	
	定型検索	○	
	バッチ検索	○	
	名寄せ検索	○	
	簡易検索	×（※）	串刺し表示して共通項目検索で代替
印刷	PC印刷	△	ブラウザ機能を使用
	レポート一覧からの一括印刷	×（※）	
しおり／しおり帳		○	
マーカー／マーカー帳		○	
切り出し	エリア切り出し	○	CSV出力のみ（クリップボード、SYLK形式の出力は廃止）
	項目切り出し・共通項目切り出し	○	
	定型切り出し	○	
他、オプション等	DOS取込み	×（※）	
	スタンプ	△	日付印、名前印、メモ付箋のみ（イメージ印は未対応）
	PDFNEOSS	○	

（凡例）
 ○：旧バージョンと同機能を提供
 △：新しいWebNEOSSでは旧バージョンと一部変更のある機能
 ×：新しいWebNEOSSでは利用できない機能

※インストール型のクライアントソフトをご利用いただくことで、従来機能を継続ご使用いただけます。

■ 廃止するオプション機能

- ・ LRM（ログリポジトリマネージャ）

NEOSS v6 の変更内容

④ サーバーソフトウェアの64bitアプリケーション化

64bitアプリケーション化により、サーバスペックを活かした処理速度の向上が図れます。

⑤ 帳票データをファイル保存のみに変更（DB内の保管を廃止）

V5.8、5.9で「データベース」の保存方法でバックアップした帳票もV6.0にリストアできます。

⑥ 対応OSをWindowsに集約

商用UNIX版、Linux版の製品をご利用の場合には、Windowsへの移行をお願いいたします。

NEOSS v6 のリリーススケジュール

対応OS、オプション機能により、段階的なリリースをいたします。

この度（2025年1月）、二次リリースとして以下の一部オプション機能をリリースいたします。

機能		一次リリース 2023年9月	二次リリース 2025年1月	三次リリース 2025年4月以降
基本機能		○	—	—
オプション機能	スタンプ	○	—	—
	CD-R連携	—	○	—
	自動分散印刷	—	○	—
	PDFNEOSS	—	○	—
	シングルサインオン支援、自動ログイン機能	○	—	—
	DRM（分散リソースマネージャ）	—	—	○

注）三次リリースは変更になる場合がございます。

【補足】OSSお取り扱いの注意点（1/2）

OSS自体の運用・メンテナンスはお客様にてお願いいたします。

- OSS環境は従来のOS環境と同様にお客様にご準備頂きます
- インフォコム製品導入のためのOSS設定値はお客様にお伝えします
⇒ 従来通り、導入作業内での対応は実施致します
- OSSのバージョンアップに対しては、製品サポートとして追隨して参ります
- OSSのバージョンアップ、パッチ適用は、お客様にてご対応頂きます
- 対象のOSSは、PostgreSQL、Tomcat、OpenJDKになります

【補足】OSSお取り扱いの注意点（2/2）

OSSは、サポートサービス契約の対象外になることから、一部改定をさせていただきます。

【改訂内容】

条項タイトル	現契約内容	改定後契約内容
サポートサービス	1. 乙は、乙が甲に使用許諾したソフトウェア・プロダクト(以下本件ソフトウェアという)について、甲に対し次のとおりのサポートサービス（以下本件サービスという）を行なう。 （イ）甲からの本件ソフトウェアの使用に関する質問等に対する回答および助言。 （ロ）甲による本件ソフトウェア使用に際し発生するトラブルの原因調査、および解決方法等の助言。 （ハ）乙が本件ソフトウェアの新バージョンまたは新リリースを発表した場合における甲に対するそれぞれ新バージョンまたは新リリースに関する情報・資料の提供。	1. 乙は、乙が甲に使用許諾したソフトウェア・プロダクト(以下本件ソフトウェアという)について、甲に対し次のとおりのサポートサービス（以下本件サービスという）を行なう。 （イ）甲からの本件ソフトウェアの使用に関する質問等に対する回答および助言。 （ロ）甲による本件ソフトウェア使用に際し発生するトラブルの原因調査、および解決方法等の助言。 （ハ）乙が本件ソフトウェアの新バージョンまたは新リリースを発表した場合における甲に対するそれぞれ新バージョンまたは新リリースに関する情報・資料（本件ソフトウェアの作動環境等に関する情報等を含む）の提供。 2. 甲および乙は、本件サービスの対象に本件ソフトウェアが作動する環境および本件ソフトウェア以外のソフトウェア（本件ソフトウェアを作動させるために甲が用意するソフトウェアを含み、以下関連ソフトウェアという）が含まれないことを確認する。 3. 甲は、第1項（ロ）のサポートサービスについて、本件ソフトウェア、本件ソフトウェアが作動する環境および関連ソフトウェアのいずれかに問題が生じているのかを調査し、本件ソフトウェアに問題があることを特定したうえで当該サポートサービスの提供を乙に求めるものとする。

契約締結は、現契約の形態に基づき、変更契約（覚書）、新規契約など、お客様個別に対応いたします。

本件お問い合わせ連絡先

インフォコム株式会社
サービスビジネス事業本部
スマートビジネス部
帳票ビジネスユニット担当
岡田・西澤

e-mail: ereport-s@infocom.co.jp